

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 10 号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和 2年12月 1日 (火)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『生徒達の 生徒達による 生徒達のための学校』

校長 小熊 誠

早いもので今年も残すところ後1ヶ月、生徒達が学校に登校するのも19日となりました。コロナウイルスの影響で、当たり前ではない生活が余儀なくされてきましたが、沢山の制約の中、主役である生徒達は輝き始めています。6つの部活動が市の代表として戦った県新人戦でも、陸上と野球の入賞が大きな弾みとなり、女子ソフトテニスと柔道も入賞こそ逃しましたが、県大会での勝利を味わってきました。そしてサッカーは、ベスト8に残り、県優勝をした埼玉栄と0-0の同点、PKで惜しくも敗退と体の芯から痺れる戦いを魅せてくれました。まさに主演男優・女優賞ものでした。きっと、大原の主役達は、この冬の間、地に深く根を伸ばし、春には、もっと大きな美しい花を咲かせてくれると信じています。今後の主役達の活躍に御期待ください。しかし大事なことが一つあります。それは、主役を輝かせるのは、味のある脇役だということです。私達教職員、保護者・地域の皆様は脇役です。皆で助演男優・女優賞を狙っていきましょう。どうぞ来年も引き続き、温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、校内でもいよいよ本格的に主役達が始動します。それは、仮称「子どもいじめ対策委員会」(正式名称は現在検討中)です。生徒会・各委員会の委員長・各部の部長・各クラス自治委員の代表からなる、これからの大原のど真ん中に位置する組織となります。この組織では、いじめ問題を自分達の問題として受け止め、いじめを許さない・見逃さない集団や、いじめが起きない学校を創ろうとする意識を高め、いじめの防止等に取り組んでいくことはもちろんですが、その大元となる、生徒達にとって魅力のある学校、生徒達が、希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校できる学校。そんな学校の実現を目指していきます。すなわち、今の大原には何が必要で、何ができるのか、これからの大原には何が必要で、何ができるのかを、考え、方向を定め、推進していきます。まさに、『生徒達の、生徒達による、生徒達のための学校創り』の始まりです。生徒達が、大原への強い参画意識をもち、さらに大原を愛し、誇りをもち、大原が「メガ進化」(ポケモン用語です)をしていくことを信じています。「メガ進化」は、主役だけでは始まりません。主役である生徒達と支える脇役の心が同じ方向を向いて一つになったときに始まります。前段でも述べましたが、脇役とは私達教職員と、保護者・地域の皆様です。私達脇役一同、心を一つに、生徒達をさらに輝かせるために尽力して参りましょう。よろしくお願いいたします。11月20日、第1回委員会が開催されました。そして、24日からの挨拶運動を皮切りに、27日の生徒朝礼では、会長から「生徒の、生徒による 生徒のための学校の実現に向けて、今まで以上に自らが積極的に動き、大原中全員でこれからの大原中を創っていくために、一緒に大原中のことを考えていきましょう」という言霊が発せられました。大原の歴史の扉が開かれた瞬間です。保護者・地域の皆様、これから大原がどう変わっていくのか、大原の令和3年、楽しみにしててください。

ちなみに、改修をしていたトイレも完成しました。素晴らしく素敵なトイレです。こちらも大原の進化の一つです。土日休日返上で工事を進めていただいた業者の方々に感謝です。生徒達が笑顔で活動するための要素がまた一つプラスされました。ソフト面にハード面も追加されていく大原、「スーパーメガ進化」の日は近いかもしれません。御期待ください。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校